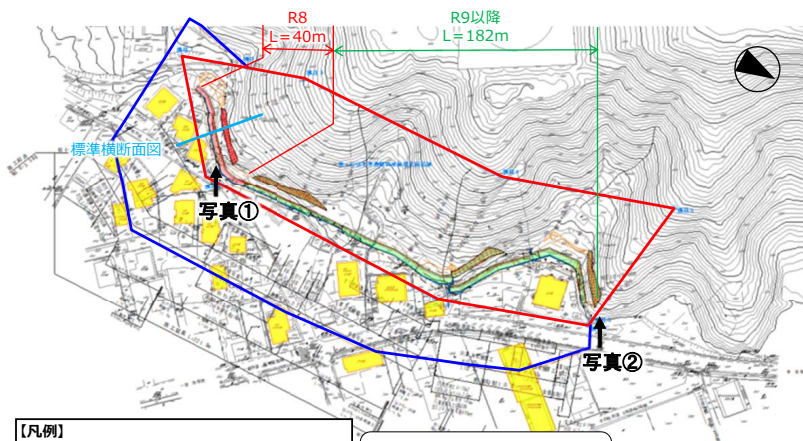


番号	26	令和8年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課																														
事業名	急傾斜地崩壊対策事業				事業主体	静岡県																															
ふりがな	ぼうずめん				関係市町	藤枝市																															
箇所名	坊主免																																				
事業採択年度	令和4年度			計画期間	令和4年度～令和11年度																																
用地着手年度	令和8年度			工事着手年度	令和8年度																																
再評価理由※	事業採択後5年経過																																				
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～R6年度	R7年度	R8年度見込	計																															
	242		33	50	50	133																															
事業概要	(1) 事業目的 坊主免地区は、藤枝市時ヶ谷に位置し、保全対象として人家18戸及び一般市道藤枝葉梨線、その他市道6地区522号線を含む急傾斜地である。 当該地区は、斜面の荒廃が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高い状況にあることから、急傾斜地崩壊対策施設を整備し、住民の生命を守るものである。 (2) 事業内容 施工延長：222 m 擁壁工：222 m 法枠工：448 m²																																				
【視点1】	(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が多く発生しており、災害に強いまちづくりのための地震・風水害の対策へ高い期待が寄せられている。 藤枝市においても、事業着手後の令和4年度からこれまでに4件の土砂災害が発生している。 (2) 事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和8年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>15.7</td><td>25.6</td><td>34.0</td><td>27.7%</td></tr></table> ・総便益 (B) 31.8 億円 (平均便益：1.77億円) ・総費用 (C) 2.0 億円 (建設費：1.98億円、維持管理費：0.05億円、用地残存価値：0.03億円) ○見込まれる効果 (定性的な効果) ・がけ崩れによる甚大な被害の防止 (3) 事業の進捗状況 (令和8年度見込み) <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内 訳</td></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>24.8%</td><td colspan="2">(60 百万円 / 242 百万円)</td></tr><tr><td>事業量</td><td>法枠工</td><td>9.8%</td><td colspan="2">(44 m / 448 m)</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>18.0%</td><td colspan="2">(160 m² / 888 m²)</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	15.7	25.6	34.0	27.7%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		24.8%	(60 百万円 / 242 百万円)		事業量	法枠工	9.8%	(44 m / 448 m)		用地取得		18.0%	(160 m ² / 888 m ²)		評価	継続が妥当
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																		
15.7	25.6	34.0	27.7%																																		
区 分		進捗率	内 訳																																		
事業費		24.8%	(60 百万円 / 242 百万円)																																		
事業量	法枠工	9.8%	(44 m / 448 m)																																		
用地取得		18.0%	(160 m ² / 888 m ²)																																		
評価	継続が妥当																																				
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 用地取得は令和8年度に完了する見込みで、借地などの地元調整は円滑に行われていることから、工事を計画的に推進し、令和11年度の完成が見込まれる <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																												
評価	継続が妥当																																				
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 今後、工事を進めていくうえで、現場発生土の流用検討を実施し、コスト削減に努める。																																				
対応方針(案)	(1) 対応方針 (案) 本事業を 【 継続 】 する。 (2) 理由 本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。																																				

This map shows the area around Fushimizu, Shizuoka City. A red line indicates the planned road extension, with a label "施工延長 L=222m" (Construction extension L=222m). The map includes a compass rose, a scale bar (1:12,700), and an inset map of Shizuoka Prefecture. Key locations marked include "至 静岡市" (To Shizuoka City), "至 浜松市" (To Hamamatsu City), "国道1号" (National Route 1), "(二) 葉梨川" (Yanagi River), "坊主免地区 急傾斜地崩壊危険区域 (藤枝市時ヶ谷)" (Fushimizu area, steep slope landslide danger zone (Fujieda City Tokigaya)), and "蓮華寺池公園" (Rengejiike Park). The source is cited as "出典：静岡県地理情報システム / Maptiles by MIERUNE, under CC BY. Data by OpenStreetMap contributors, under ODbL."

詳細位置図



主な保全対象

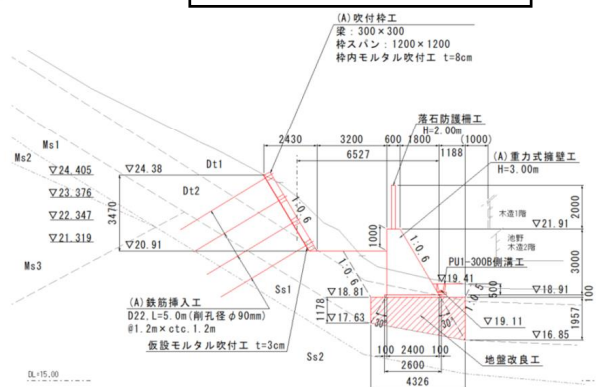
- 人家18戸
- 一般市道藤枝葉梨線
- その他市道 6 地区522号線

R8整備予定箇所

写真①

箇所名	坊主免（藤枝市時ヶ谷）
事業費	242百万円
計画期間	令和4年度～令和11年度
全体延長	222m
事業内容	重力式擁壁工 延長221.8m 法枠工 延長448m2

標準横断面図



3. 事業概要

前回からの変更点・理由

区 分	前回(R4)	今回(R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R8	R4～R11 (+3年)	用地交渉に時間を要し、 工事着手が遅れ完了年度を延伸した
②全体事業費	168百万円	242百万円 (+74)	労務費及び物価の上昇により、 事業費が増大した

4. 事業の投資効果（費用便益比）

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

総便益 31.75億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害
- ☐ 間接被害
 - ・精神的被害

総費用（C）

総費用 2.03億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):15.7 経済的内部収益率(EIRR):27.7%

前回の費用対効果(B/C):6.8

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に引き上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- 現場発生土の流用検討を実施し、コスト縮減に努める。
- 急傾斜地崩壊対策工事は、住民の協力が不可欠であるため、工事の新着状況を共有するなど、日頃のコミュニケーションを大切にし、工事が滞りなく進むよう努める。
- 当該区域の保全対象である市道は、通学路でもあり、多くの児童が通過することから、本事業のPRとともに、インフラの重要性のPRに努める。